

足羽川桜づつみ協議会

第2回 協議会資料

平成19年5月11日

福 井 県
福 井 市

< 目 次 >

資料－１	前回協議会以降の経過報告	1
1－1.	第1回協議会の概要	2
1－2.	春まつりアンケートの結果	3
1－3.	地元検討会（ワークショップ）の結果	4
資料－２	植栽計画の検討	5
2－1.	桜並木の現状	6
2－2.	一列並木の植栽案	8
2－3.	多様性・多層性の植栽案	9
資料－３	施設計画の検討	11
3－1.	全体配置	12
3－2.	擁壁	13
3－3.	階段	14
3－4.	舗装	15
3－5.	ベンチ	16
3－6.	照明設備	17
3－7.	トイレ	18
3－8.	休憩デッキ	19
資料－４	維持管理計画の検討	20
資料－５	撤去する桜の有効利用の検討	24

資料－ 1 前回協議会以降の経過報告

1-1 第1回協議会の概要

- 桜づつみ協議会において、県と市が提示した住宅側の桜を若木に植え替えて、川側の桜を段階的に撤去することで、堤防の安全性を確保していく案の方向性を妥当と判断した。

委員からの意見

● 計画案について

- ・ 片側だけの並木では、観光価値や県民の誇りという点で劣ることから新たな工夫が必要である。
- ・ 桜トンネルを長く維持するため、川側の桜の延命策を考えてもらいたい。
- ・ 木田橋～新明里橋全体で整備を考えてもらいたい。

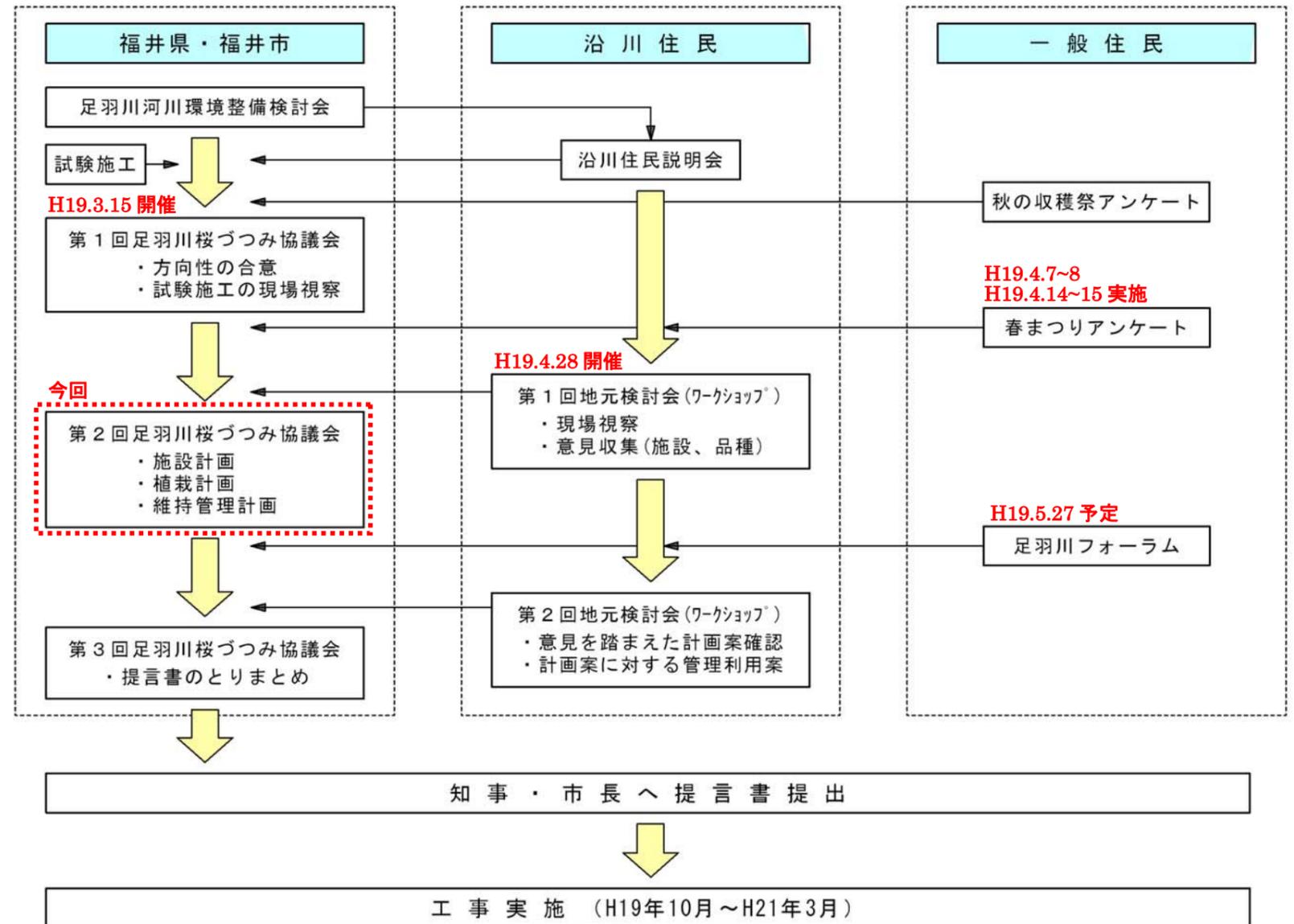
● 施設計画について

- ・ 伐採した桜をベンチに再利用して、桜への親しみを持続させてもらいたい。
- ・ トイレを充実させてほしい。
- ・ 夜のウォーキング等のために、ボンボりに替わる新しい灯りを検討してもらいたい。
- ・ 楽しい散歩道のある憩いの場所にしてもらいたい。
- ・ 道路沿い擁壁を周りの景観になじむようにしてもらいたい。
- ・ 市道も堤防と一体的に考えることで、潤いのある道にってもらいたい。

● 桜の品種について

- ・ 各桜の開花期間の情報が知りたい。
- ・ 一斉に清掃管理ができるソメイヨシノの方がよい。

<足羽川桜堤計画のフロー>



1-2 春まつりアンケートの結果

●春まつり4日間に桜堤に関するアンケートを実施した。
(アンケート総数 1,937人)

自由意見

●賛同できる意見

- ・安全を第一に考えないといけない。伐採することにより安全な生活が送れるなら仕方ない。
- ・桜の寿命などを考えると、今工事を行う一番の機会なのではないか。

●賛同できない意見

- ・絶対今の桜並木を残してほしい。
- ・トンネル状にならないのかももう一度考えてほしい。

●施設について

- ・ベンチ、休憩所、トイレ、照明などを整備してほしい。
- ・河川敷の整備、親水公園化なども考えてほしい。

●桜について

- ・新種のソメイヨシノを増やしてほしい。
- ・桜の種類を考えて長く楽しめるようにしてほしい。
- ・桜以外の花も楽しめるとよい。

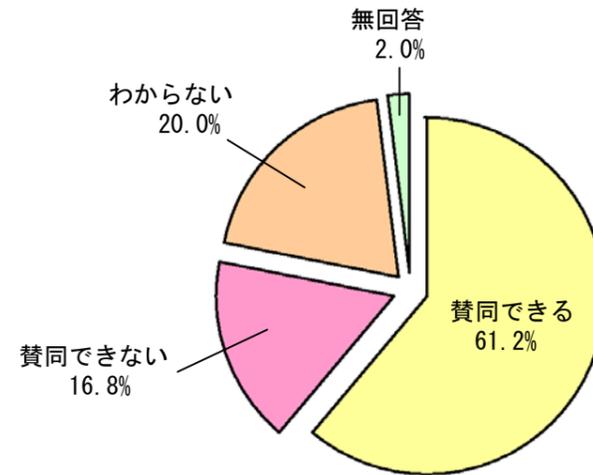
●維持管理について

- ・地区ごとに区間を受け持ち管理する。
- ・ボランティアを募り掃除を行う。

●その他

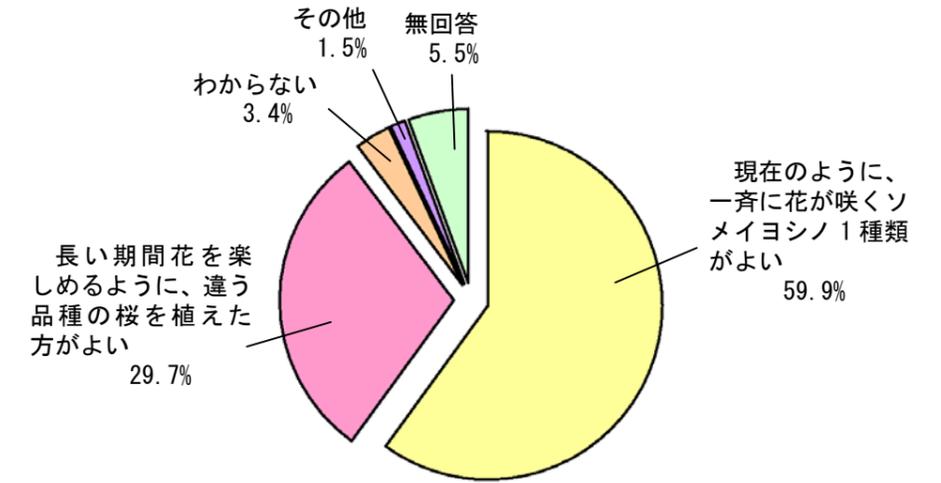
- ・他の場所に移してでも桜のトンネルは残してほしい。
- ・四季折々のイベントを考え、市民に親しんでもらえる場にする。もっと県外にPRを。

新たな桜堤の整備について



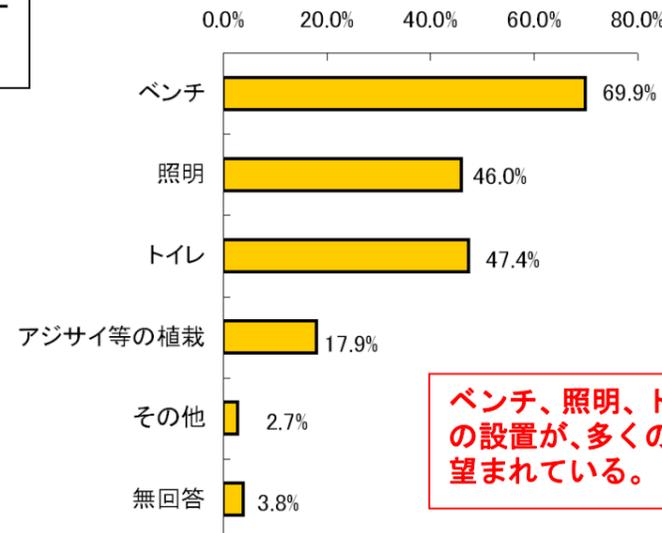
半数以上の人々が、新たな桜堤の整備計画案に賛同している。

新たに植える桜の品種について



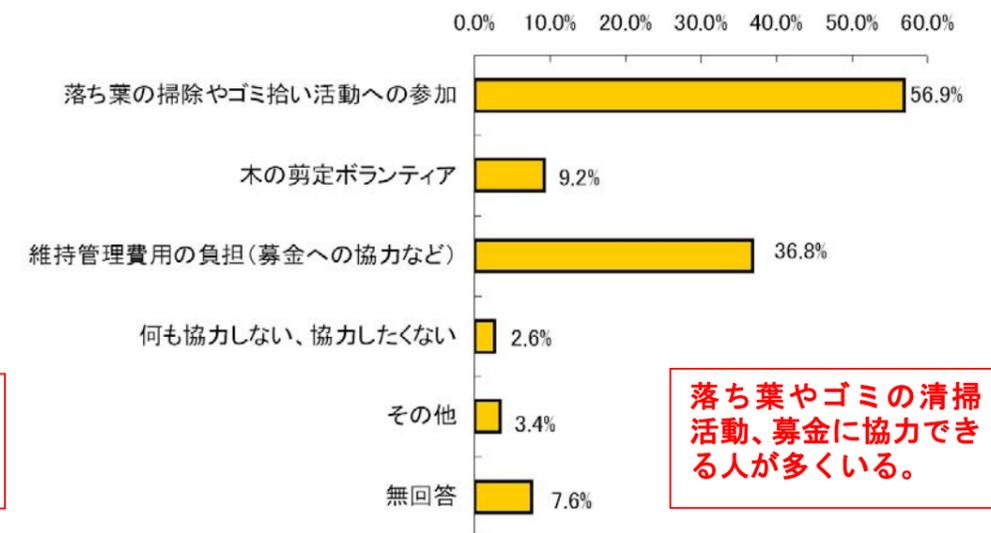
現状どおりのソメイヨシノだけの並木を望む人が半数以上いる。

桜並木に希望する施設について



ベンチ、照明、トイレの設置が、多くの人に望まれている。

維持管理で協力できることについて



落ち葉やゴミの清掃活動、募金に協力できる人が多くいる。

展示ブース状況



1-3 地元検討会（ワークショップ）の結果

● 4月28日に地元検討会（第1回ワークショップ）を実施した。
（参加人数22人）

地元意見のまとめ

分類	項目	賛成意見・要望	反対意見
施設計画	擁壁	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加で緑作りが出来るようにしてほしい。（市民、企業、行政共同で） 草花、つる性植物を植えてほしい。 保水ブロック等を使用して緑化をして温暖化を防止してほしい。 緑化できるようにしてほしい。 擁壁の高さを部分的に高くして広場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁が高すぎるので、低くできないのか。 最高でも1.5m程度にしてほしい。 擁壁の高さ2mで適当なのか 除雪の問題を考慮して擁壁高を決めてほしい。
	階段	<ul style="list-style-type: none"> 階段を多く設置してほしい。 階段化粧は価格面を考慮し擬木にしてはどうか。 階段は滑りにくい材質が良い。 スロープと階段を併設してほしい。 段差を大きくとってはどうか。 手摺りをつける。 階段は擬木、自然石が良い。 階段を広げてほしい。 バリアフリー（高齢化）へ対応した施設としてほしい。 	<p>（川側）</p> <ul style="list-style-type: none"> 泉橋から明里橋で民家のある区域の内側堤防法面は全長階段式にしてほしい。 <p>（住宅側）</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路側（堤内地）法面は全面的に橋北のように階段式にしてほしい。 足羽川の河原は区民の避難場である。
	舗装	<ul style="list-style-type: none"> 舗装がガタガタになっている。 遊歩道の上幅を広く取れると良い。 	
	ベンチ	<ul style="list-style-type: none"> ベンチを設置してほしい。 	
	照明	<ul style="list-style-type: none"> 照明をつけてほしい。 照明は上向きに設置してほしい。 	
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 幸橋桜橋にトイレを設置してほしい。 トイレがほしい。 トイレ表示をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 幸橋から桜橋の間に、トイレはない。 トイレ現状でよい。
	水道	<ul style="list-style-type: none"> 水を確保してほしい。 	

分類	項目	賛成意見・要望	反対意見
植栽計画	桜	<ul style="list-style-type: none"> 桜の配置は直線が良い。 桜は今の品種でよいと思う。 m y 桜方式で植えてはどうか。 明里橋下流に移植可能か。 桜の種類は混合の方が良い。 桜の木を市民が購入できないか。 一日楽しめる場所にしてほしい。（他の地域の人がかかるように） 桜の時期のみでなく四季折々楽しめるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 桜は両側今のままが良い。 現状の桜を少しでも長く生きられるようにしてほしい。 ぎりぎりまで桜を残してほしい。 両方の桜があってこそ維持できると思う。 桜は堤防に悪影響ではない。 桜の木は景観はよいが迷惑施設である。
	法面	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに花が咲くと良い。 法面の雑草がひどい。 川側はシバザクラはどうか。 アジサイはゴミ捨て場になるので全体的に芝生にしてはどうか。 アジサイを植えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 堤防法面に植物を植えないこと。
維持管理計画		<ul style="list-style-type: none"> 防虫管理をきちんとしてほしい。 手入れをしてきれいにしてほしい。 桜の木の管理（保存、掃除、清掃）これからも住民まかせなのか。 掃除をするのが大変である。 現在の桜の空洞調査。 擁壁の緑を地域社会で維持管理していただけるように行政の指導を頂きたい。 	
付帯計画	遊歩道	<ul style="list-style-type: none"> 幸橋の河川敷に道路を設けてほしい。 幸橋の下を自転車も通れるようにしてほしい。 幸橋両脇地下歩道化。 	
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷に乗用車の駐車場の設置。 駐車場がほしい。 バスを含む駐車場がほしい。 駐車場への案内看板がほしい。 	
	融雪	<ul style="list-style-type: none"> 堤防沿いの道路に融雪装置をつけてほしい。 	
堤防計画		<ul style="list-style-type: none"> 堤防の土質をみせてほしい。 堤防が砂地であることを証明してほしい。 川側の堤防を強化してほしい。 川に巨大な（大口径）パイプを設置すれば現状でも問題ないのではないか。 アリの穴で堤防決壊した。 	<ul style="list-style-type: none"> 堤防の強化が主であるのに桜の植樹が主になっている。 堤防は大丈夫である。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 区間の利用度による考え方が必要。 予算を県と市でもてないか。 橋脚のモニュメントはいらぬ。 工事は地元業者で行うほうが良い。（他地区業者では力がはらない） 責任を明確化してほしい（県民、市、観光協会） 	

現場視察



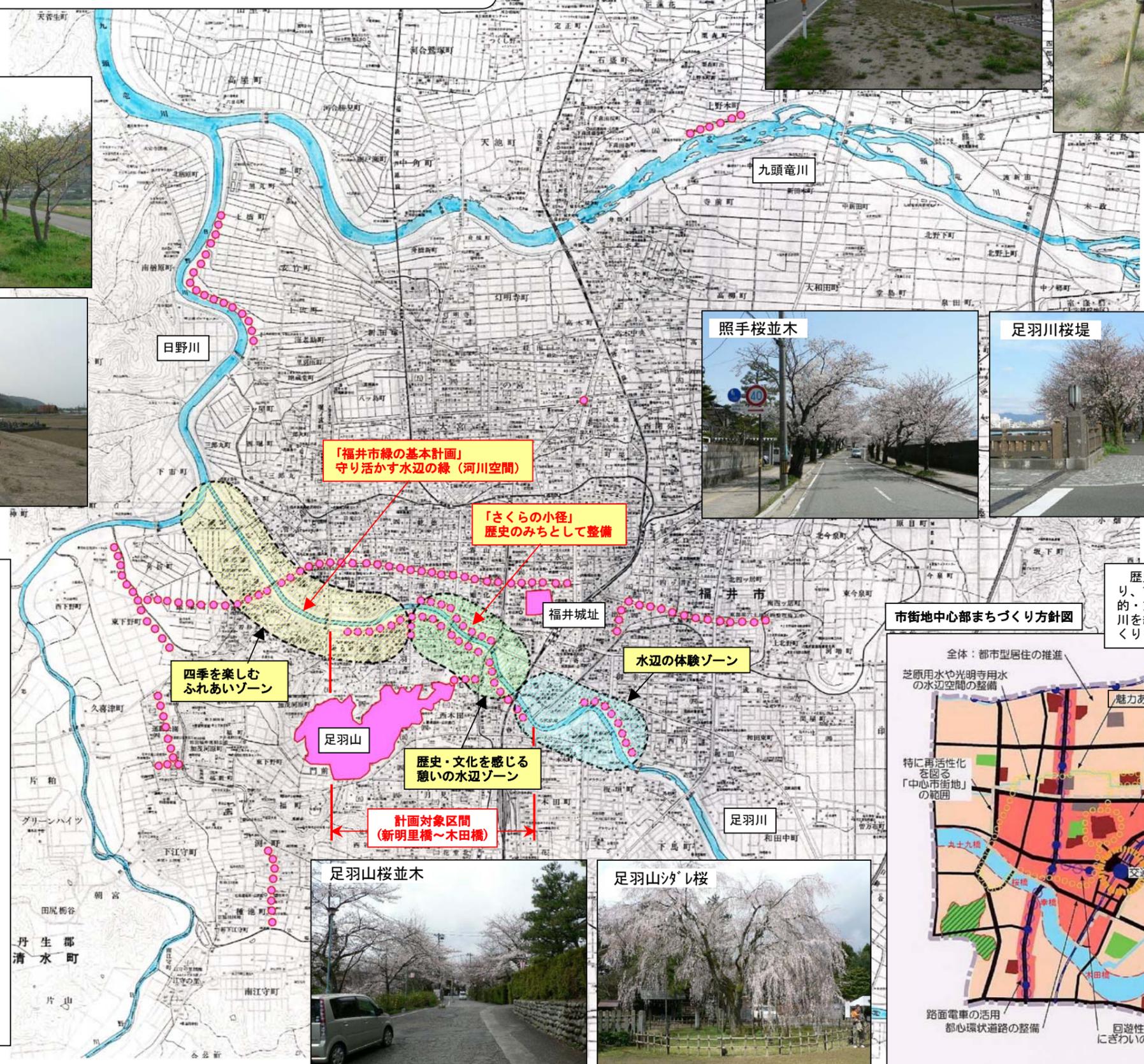
意見交換会



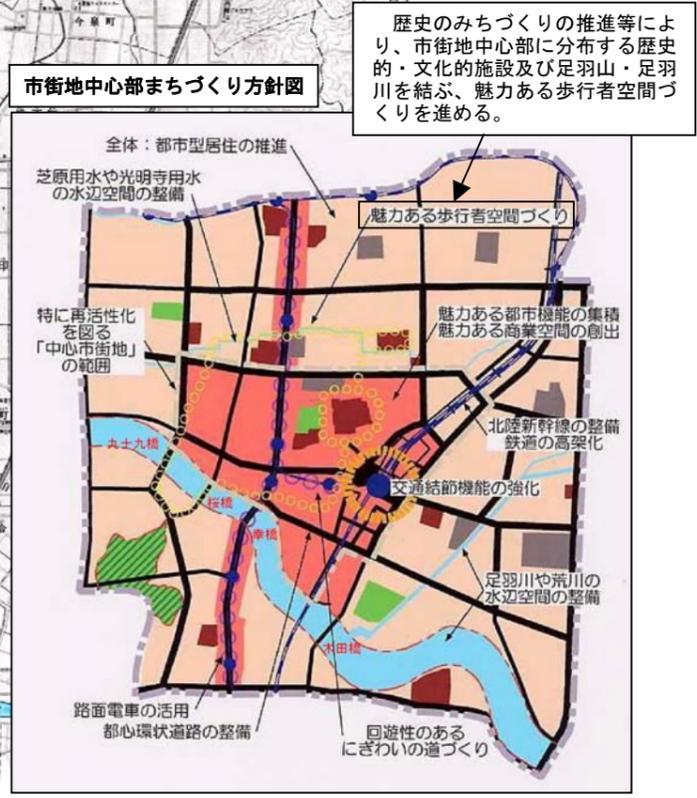
資料－2 植栽計画の検討

2-1 桜並木の現状

●福井市の市街地には、足羽川・足羽山・さくら通り・福井城址を中心とした桜並木がある。また、市街地を外れた九頭竜川・日野川には桜堤整備が進められており、最近コマツオトメが植栽されたところである。



- ### 足羽川河川環境整備計画
- 四季を楽しむふれあいゾーン
足羽川従来の身近な自然や貴重な生態系を保全するとともに、足羽川の四季折々の景観にふれあい楽しみながら、人々の出会い・ふれあいを演出するゾーンであり、環境と利用が調和した、市街地と河川空間が一体となった人と自然にやさしい整備を行う。
 - 歴史・文化を感じる憩いの水辺ゾーン
城下町として始まり、近代都市へと発展してきた福井の歴史・文化と接し、憩い魅力ある散策路を花と水の流れの回廊として紡ぐゾーンであり、憩い・賑わいを演出した整備を行う。
 - 水辺の体験ゾーン
自然とふれあい、水辺体験を目的としたレクリエーション活動の場として、自由に遊んだり、憩い・癒しの場として利用されるゾーンであり、水辺体験・親水性に配慮した整備を行う。



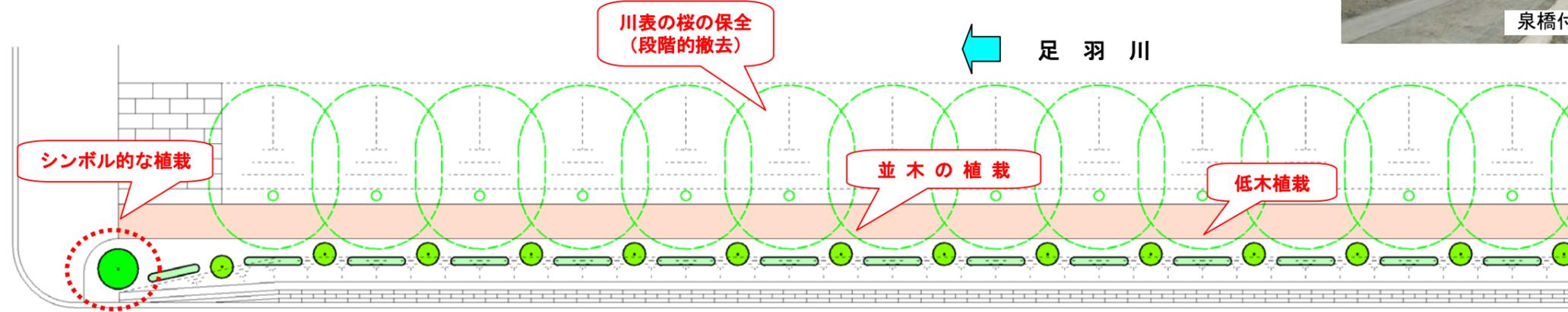
歴史のみちづくりの推進等により、市街地中心部に分布する歴史的・文化的施設及び足羽山・足羽川を結ぶ、魅力ある歩行者空間づくりを進める。

福井市都市計画マスタープランより

2-2 一列並木の植栽案

トンネル状の桜堤に替わる新たな魅力の創出
 ●ソメイヨシノ系の桜を配植することで、統一感のある桜並木に加えて、低木植栽で彩りを高める。
 ●橋詰に樹形の大きい野生種を配植して、桜並木の特徴を高める。

川表の桜の保全
 段階的撤去により当面は存置し、鑑賞に堪える最低限の景観の保全に努める。



低木植栽
 春のイメージを高めるため、遊歩道沿いに色彩豊かな低木を植栽する。

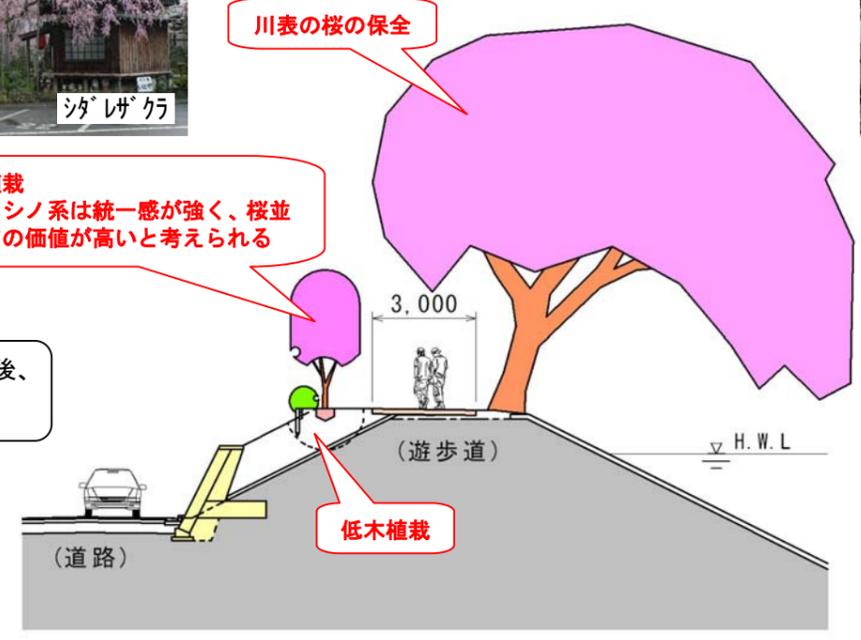
シンボリックな植栽 橋詰等の比較的余裕のある場所に、ポイント的に特徴ある桜を植栽する。(野生種・移植)



並木の植栽 なじみのあるソメイヨシノの特徴を活かし、病虫害に強い桜を植栽する。(ソメイヨシノ系)



課題
 川側の桜がなくなった後、単調な並木となる



桜並木としての代表的な品種の比較

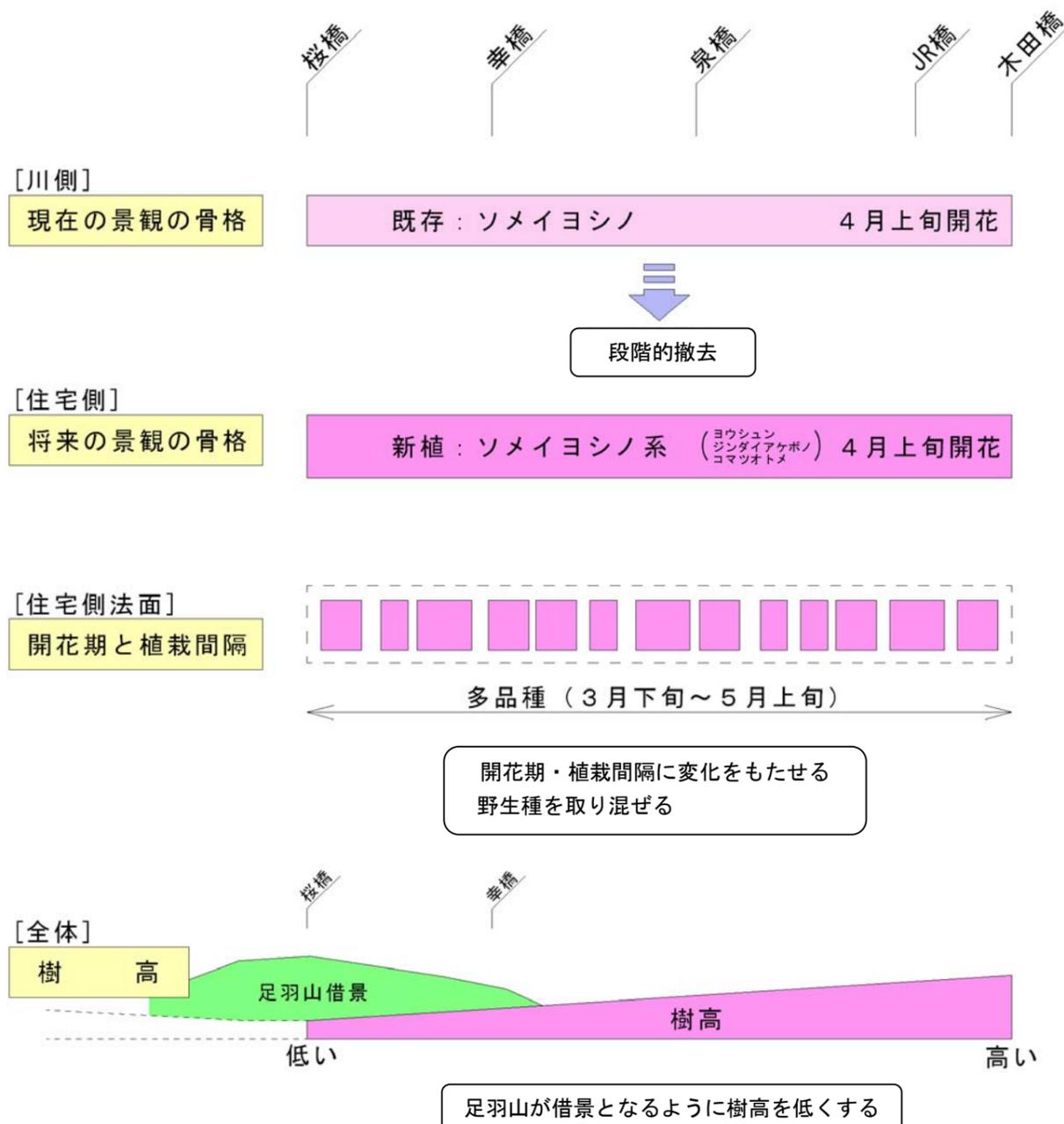
分類	代表樹種	長所	短所
野生種	ヤマザクラ	・樹齢が長い桜並木になる	・開花に開きがあり統一感に欠ける ・樹形が大きいため単体の方が価値がある
	エドヒガン		
	シダレザクラ		
ソメイヨシノ系	ヨウシュン	・葉より花が先に開花するため早春イメージが強い ・開花が同時で統一感のある豪華な桜並木になる	・一斉に開花するため比較的花期が短い
	ジンダイアケボノ		
	コマツオトメ		
サトザクラ類	カンザン	・花が多様で彩りの豊かな桜並木になる ・比較的最長い間花を鑑賞できる	・樹形が小さくボリュームに欠ける ・花より葉が先行するため早春のイメージがうすい ・雪に弱く枝が折れやすい
	フゲンゾウ		
	オモイガワ		

2-3 多様性・多層性の植栽案

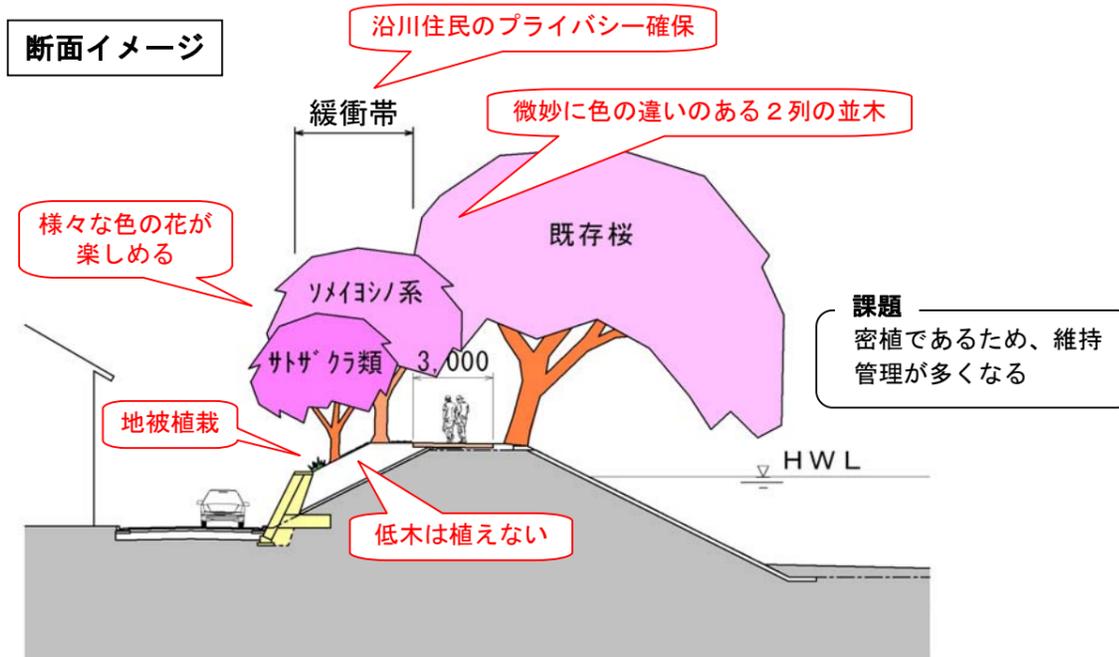
(1) 植栽の考え方

トンネル状の桜堤に替わる新たな魅力の創出

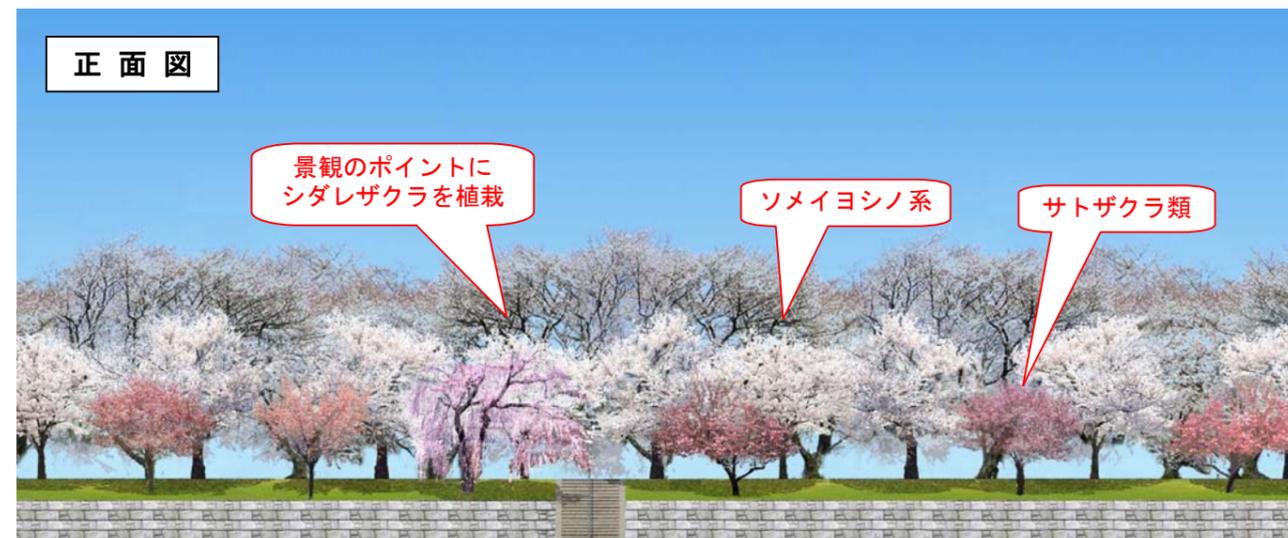
- 法面に植えるソメイヨシノ系を主に、法面にサトザクラ類を混植することで、多様性・多層性のある庭園的な桜並木を形成する。
- 開花期・植栽間隔・樹高を変えることにより、変化に富み桜を長く楽しめるようにする。



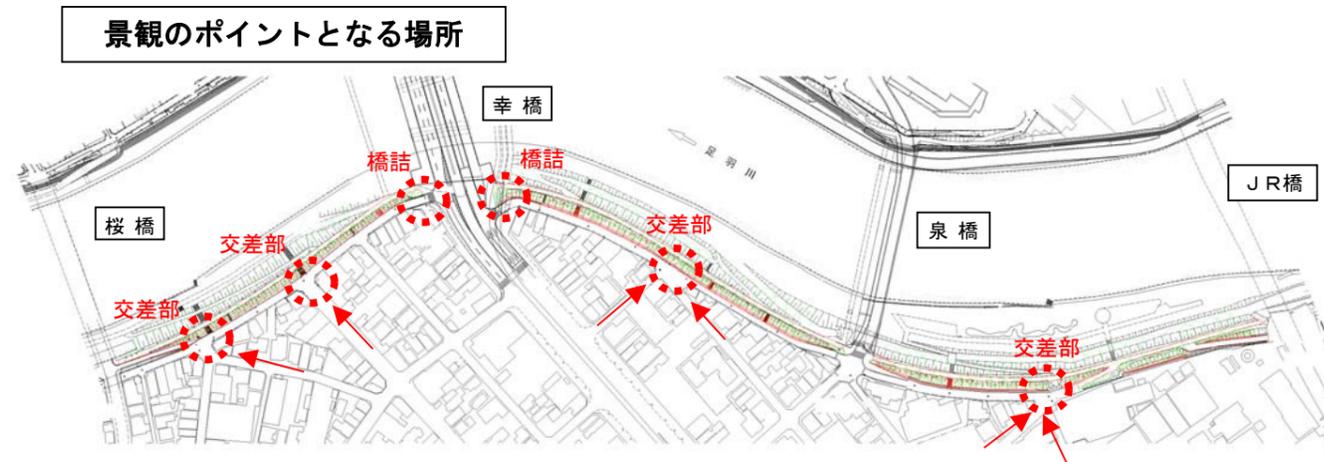
断面イメージ



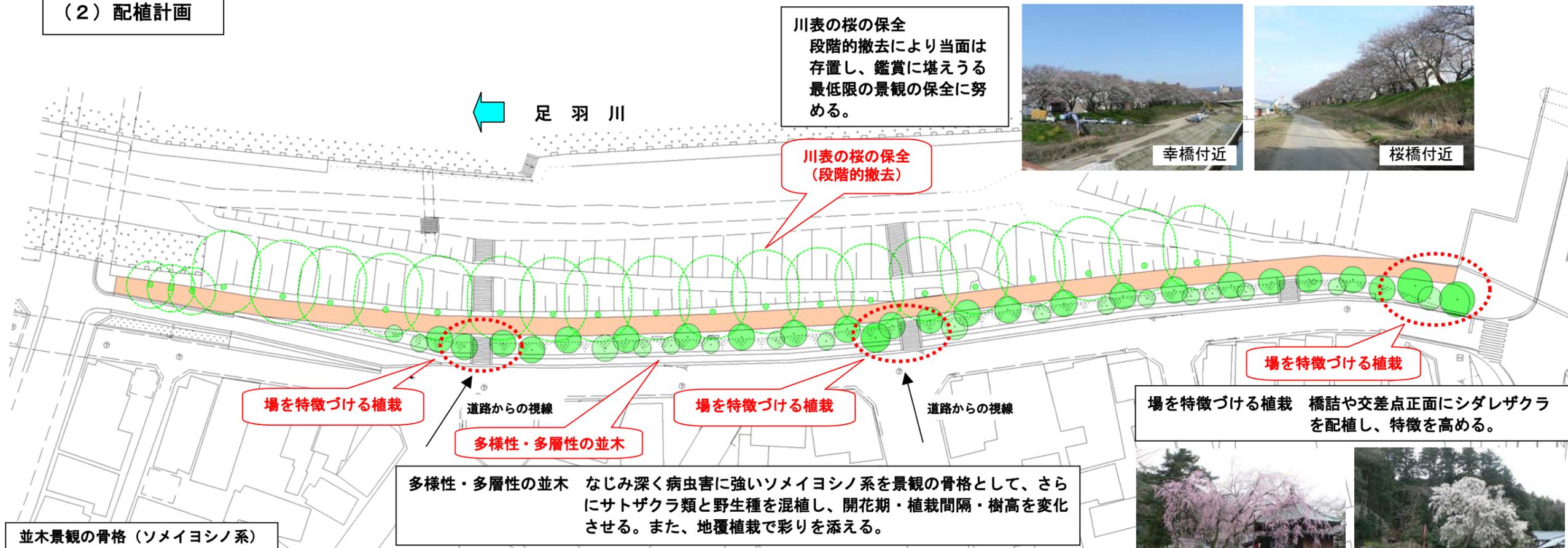
正面図



景観のポイントとなる場所



(2) 配植計画



川表の桜の保全
段階的撤去により当面は
存置し、鑑賞に堪えうる
最低限の景観の保全に努
める。



川表の桜の保全
(段階的撤去)

場を特徴づける植栽

多様性・多層性の並木

場を特徴づける植栽

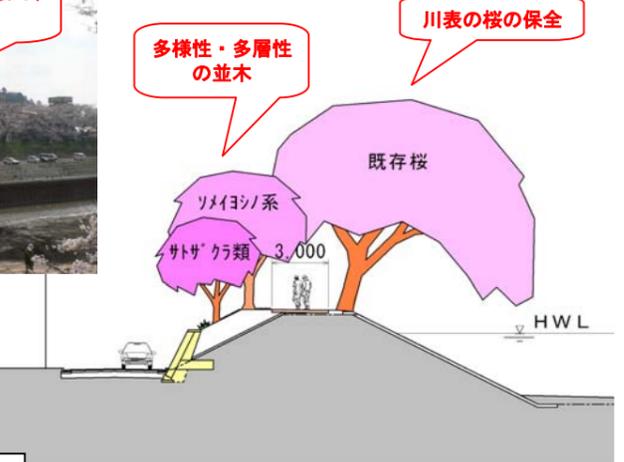
場を特徴づける植栽

場を特徴づける植栽 橋詰や交差点正面にシダレザクラ
を配植し、特徴を高める。



並木景観の骨格 (ソメイヨシノ系)

多様性・多層性の並木 なじみ深く病虫害に強いソメイヨシノ系を景観の骨格として、さら
にサトザクラ類と野生種を混植し、開花期・植栽間隔・樹高を変化
させる。また、地覆植栽で彩りを添える。



地覆植栽



サトザクラ類



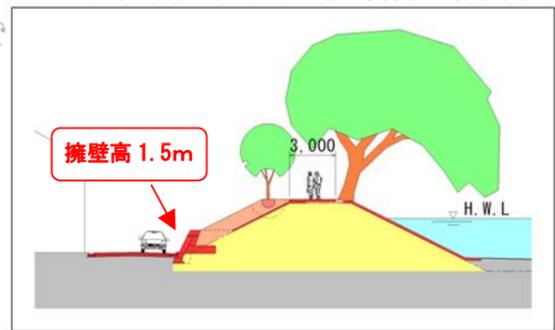
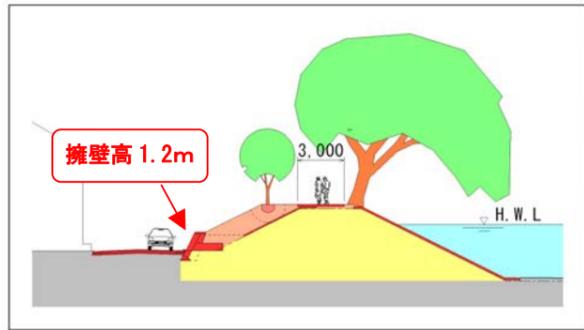
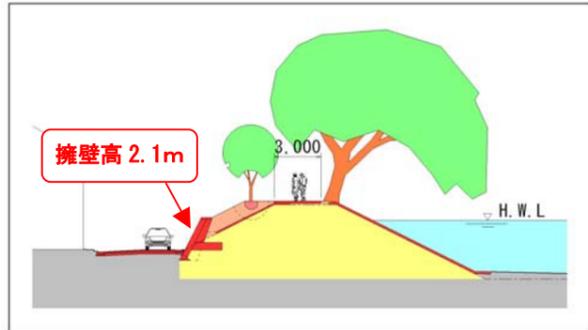
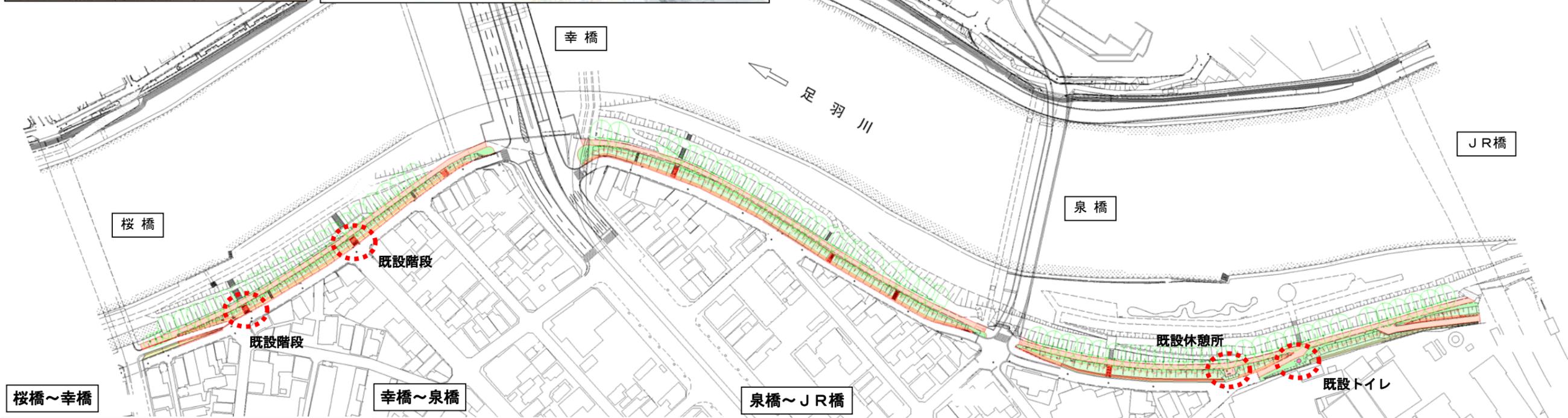
野生種



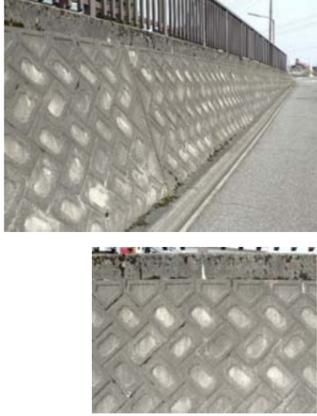
資料－3 施設計画の検討

3-1 全体配置

●既存の休憩所やトイレ・階段等を活かし、誰もが楽しく散策し憩えるような明るいイメージの桜並木を創出する。

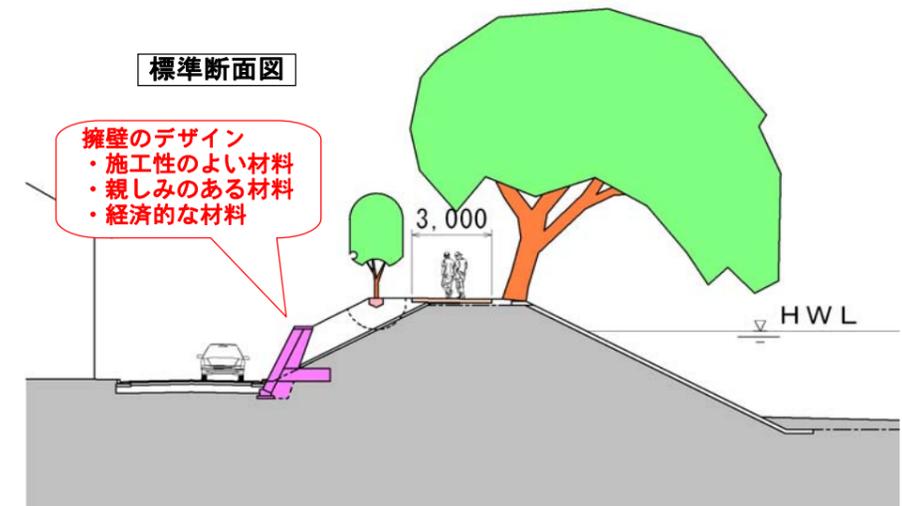
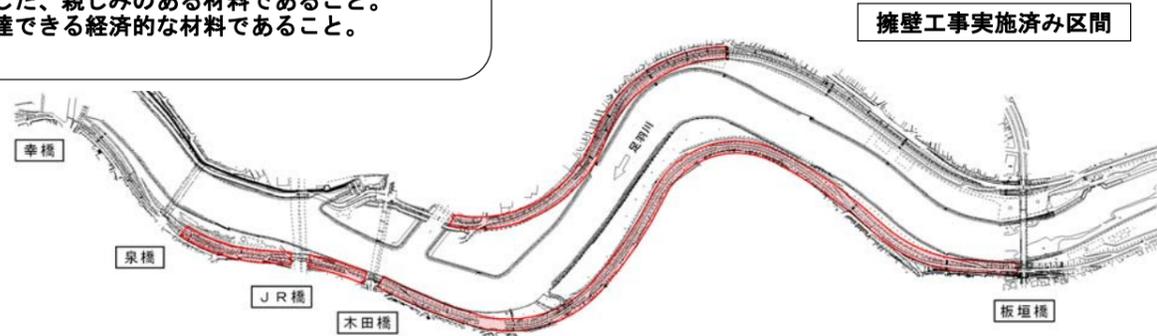


3-2 擁壁

比較案	コンクリート二次製品				石積み	
	間知ブロック	化粧型枠ブロック	自然石ブロック	緑化ブロック	御影石	玉石
概要写真						
概要説明	・標準的な間知ブロックを積み上げる工法で、積み方により谷積みと布積みがある。	・多様な模様入りの表面に仕上げた、大型のブロックを積み上げる工法である。	・御影石や自然石等を埋込み加工した、大型のブロックを積み上げる工法である。	・植栽可能な大型のブロックを使用し、壁面を緑化する工法である。	・通常の間知ブロック等に替わって、御影石を積み上げる工法で、積み方により布積みや乱積み等がある。	・通常の間知ブロック等に替わって、自然石を積み上げる工法で、積み方は乱積みが一般的である。
施工性	・サイズの小さい間知ブロックを積むため、大型ブロックに比べ工期を要する。 ・高さの変化する箇所では、現場打ちの作業が必要になる。	・大型ブロックのため施工性に優れ、工期の短縮化が図れる。 ・製品と合わない箇所は、現場打ちの作業が必要となる。	・大型ブロックのため施工性に優れるが、製品の工場製作に工期を要する。 ・製品と合わない箇所は、石工の作業が必要となる。	・大型ブロックのため施工性に優れるが、緑化に必要な客土工や植栽工の作業が必要となる。	・合端を調整しながら積むため、ブロックと比べ施工性に劣り工期を要する。 ・輸入品で材料調達がむずかしい。	・合端を調整しながら積むため、ブロックと比べ施工性に劣り工期を要する。 ・乱積み施工のため、職人により仕上げが左右され易く、材料調達も難しい。
景観性	・表面がコンクリートのため、人工的で固いイメージの仕上がりとなる。	・型枠で表面を和らげているが、人工的で固いイメージの仕上がりになり易い。	・ブロック間の直線的な目地を除けば、石材を使うことで趣のある仕上がりとなる。	・緑化することで親しみのある景観となるが、水やりや草取り等の維持管理が必要になる。	・御影石を使用することで、質感を高め風格のある仕上がりとなる。	・自然石を使用することで、質感を高め趣のある仕上がりとなる。
経済性	23,000円/㎡	30,000円/㎡	美濃石張り 62,000円/㎡ (桜御影張り 59,000円/㎡)	47,000円/㎡	布積み 66,000円/㎡ (乱積み 79,000円/㎡)	玉石積み 37,000円/㎡ (乱積み 50,000円/㎡)

< 選定の目安 >

- ① 堤防工事は梅雨や台風を避けた時期に限定されるため、施工性のよい材料であること。
- ② 市街地の景観にも配慮した、親しみのある材料であること。
- ③ 比較的安く、容易に調達できる経済的な材料であること。



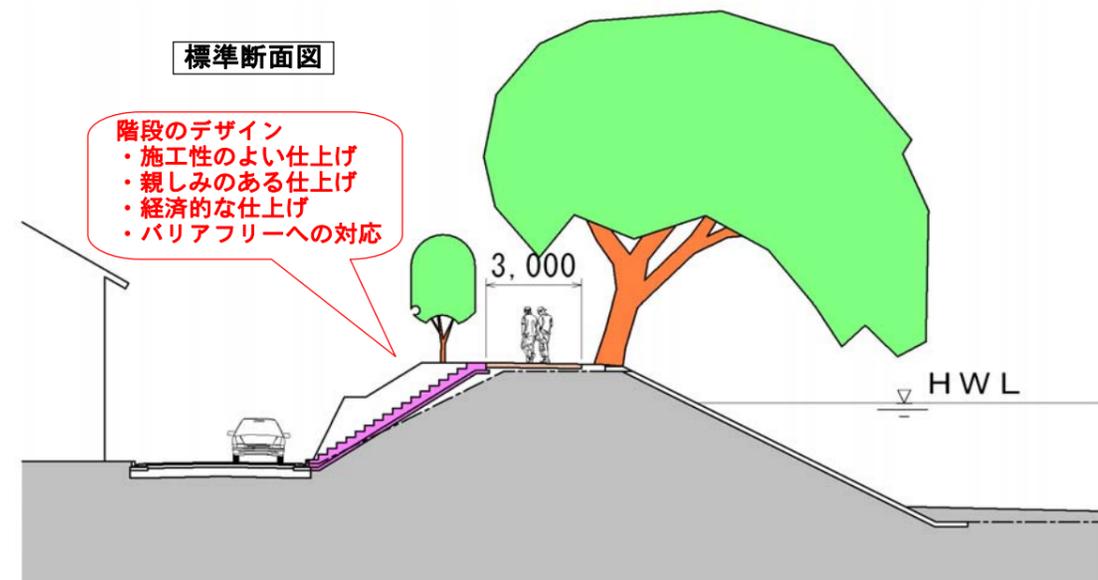
3-3 階段

比較案	現場打ち階段	擬木階段	踏面石張り階段（激特採用）	石張り階段	自然石階段
概要写真					
概要説明	・現場打ちのコンクリートで、表面を金コテで仕上げた階段である。	・擬木製の丸太を蹴上げに利用して、踏面をコンクリートで仕上げた階段である。	・現場打ちのコンクリートで、踏面の表面を鉄平石張りで仕上げた階段である。	・コンクリートの躯体に、表面全体を御影等の石張りで仕上げた階段である。	・自然石を組み合わせて仕上げた階段である。
施工性	・コンクリートの打設のみで、表面の仕上げがないため施工性はよい。 ・様々なサイズの階段に対応できる。	・蹴上げの型枠が不要で、踏面のコンクリート打設のみのため施工性はよい。 ・様々なサイズの階段に対応できる。	・踏面の張石仕上げに工期を要するため、やや施工性は劣る。 ・様々なサイズの階段に対応できる。	・表面全体の張石仕上げに工期を要するため、施工性は劣る。 ・様々なサイズの階段に対応できる。	・自然石の据付けに工期を要するため施工性は劣り、職人により仕上げが左右される。 ・様々なサイズの階段に対応できる。
景観性	・表面がコンクリートのため、人工的で固いイメージの仕上がりになる。	・蹴上の木目調により、いくらか柔らかいイメージの仕上がりとなる。	・踏面の張石仕上げにより、いくらか柔らかいイメージの仕上がりとなる。	・表面全体の張石により質感を高め、風格のある仕上がりとなる。	・自然石を使用することで、質感を高め趣のある仕上がりとなる。
経済性	1段当り（幅300） 6,000円/m	1段当り（幅300） 18,000円/m	1段当り（幅300） 15,000円/m	1段当り（幅300） 21,000円/m	1段当り（幅300） 28,000円/m

< 選定の目安 >

- ① 堤防工事は梅雨や台風を避けた時期に限定されるため、比較的施工性のよい仕上げであること。
- ② 市街地の景観にも配慮した、親しみのある仕上げであること。
- ③ 比較的安く、容易に調達できる経済的な仕上げであること。

標準断面図



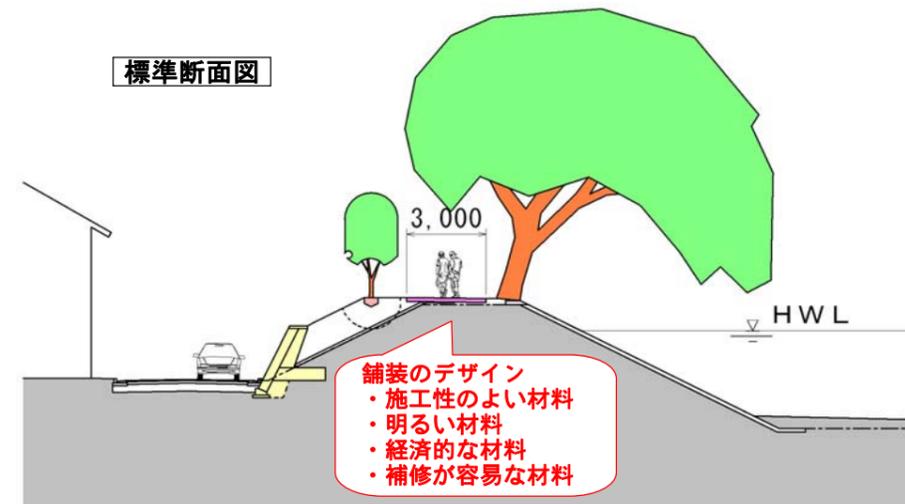
3-4 舗装

比較案	アスファルト舗装	脱色アスファルト舗装（土色）	真砂土硬化舗装	インターロッキング舗装	タイル張舗装（御影）
概要写真	 	 	 	 	 
概要説明	・アスフェルト合材を現場で敷き均し、締め固める工法である。	・土色配合したアスファルト合材を現場で敷き均し、締め固める工法である。	・真砂土と硬化剤を現場で混合して敷き均し、締め固める工法である。	・インターロッキングを砂目地で敷き詰めていく工法である。	・下地にコンクリートを打設し、その表面にタイル材を張る工法である。
施工性	・機械施工が可能のため施工性はよい。 ・材料の調達容易である。	・機械施工が可能のため施工性はよい。 ・特殊な色を除けば、材料の調達が比較的容易である。	・現場での混合作業が必要となるため、施工性は劣る。	・個々のブロックを設置していくため、施工性は劣る。	・下地のコンクリートとタイル張りの工程があるため施工性は劣る。
景観性	・表面が黒いアスファルトのため、人工的で古いイメージの仕上がりとなる。	・表面がなじみのある土色のため、比較的柔らかいイメージの仕上がりとなる。	・表面が土のため比較的弾力性があり、柔らかいイメージの仕上がりとなる。	・表面がなじみのある土色のブロックを使うことで、柔らかいイメージの仕上がりとなる。	・御影調のタイルを使用することで、質感を高め趣のある仕上がりとなる。
堤防の安全性	・不透水の舗装で被覆効果が大きいいため、堤防の安全性が高い。	・不透水の舗装で被覆効果が大きいいため、堤防の安全性が高い。	・透水の舗装で被覆効果が小さいため、堤防の安全性が低い。	・不透水の舗装であるが、ブロックの連結強度が小さいため、堤防の安全性が低い。	・不透水の舗装で被覆効果が大きいため、堤防の安全性が高い。
維持管理	・切断が容易で部分的な補修にも対応できる。	・まとまった補修でないと対応できない。 ・補修の数量が少ないと割高になる。	・特殊業者による責任施工で、補修的には劣る。 ・特殊舗装のため補修費がかさむ。	・撤去が可能で部分的な補修にも対応できる。 ・舗装が隆起した場合に、ブロックがバラバラになり補修範囲も広がる。	・部分的な補修可能であるが工期を要する。 ・補修に関して、下地コンクリートからの修繕が必要である。
経済性	1㎡当り 3,500円	1㎡当り 12,000円	1㎡当り 13,000円	1㎡当り 9,500~22,000円	1㎡当り 31,000円

< 選定の目安 >

- ① 堤防工事は梅雨や台風を避けた時期に限定されるため、比較的施工性のよい仕上げであること。
- ② 市街地という景観にも配慮した、親しみのある材料であること。
- ③ 補修可能で比較的容易に調達できる材料であること。

標準断面図



3-5 ベンチ

一般的な
平ベンチ



ユニバーサル型
のベンチ



肘付き



肘付き



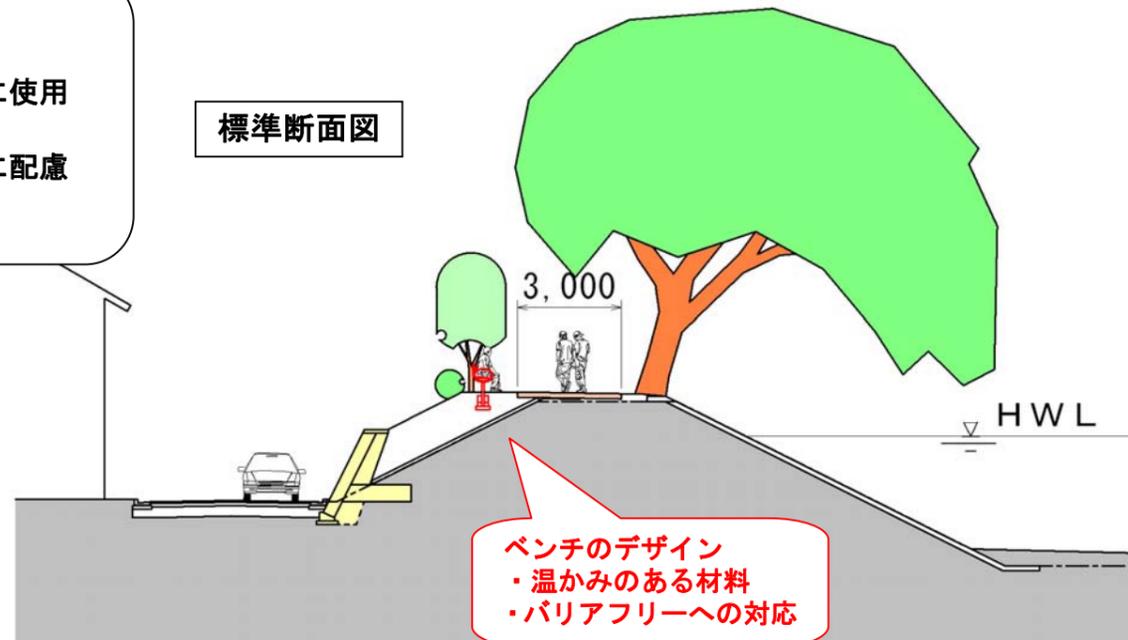
高い座面
と肘付き



<選定の目安>

- ① 座り心地の面から、温かみのある木材を座板に使用していること。
- ② バリアフリーの面からユニバーサルデザインに配慮した製品であること。

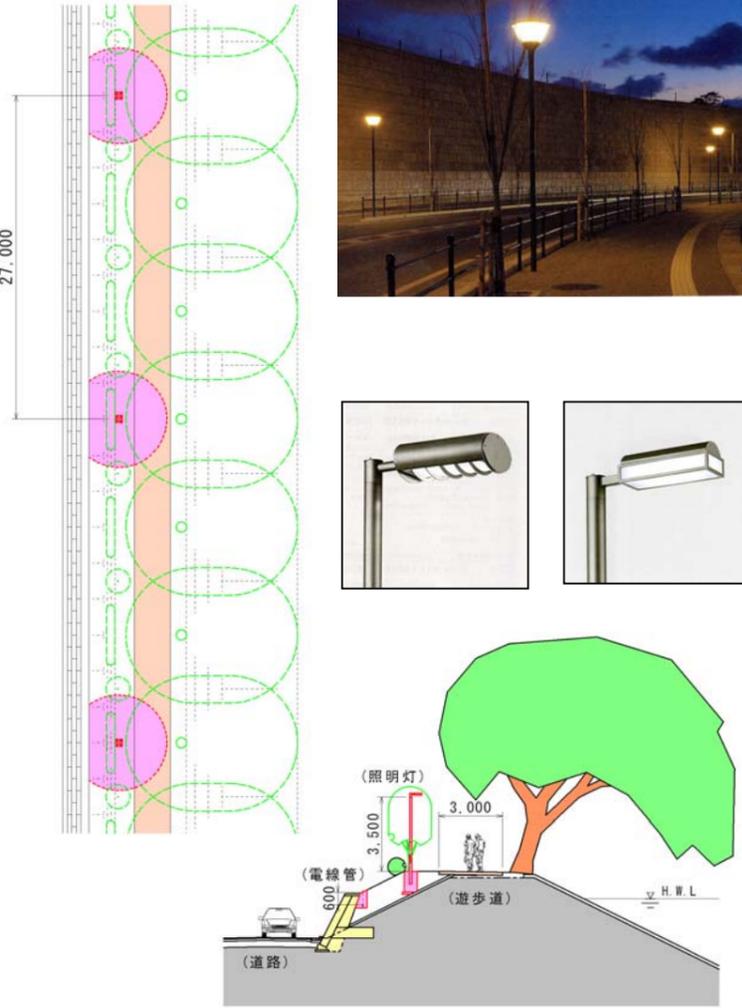
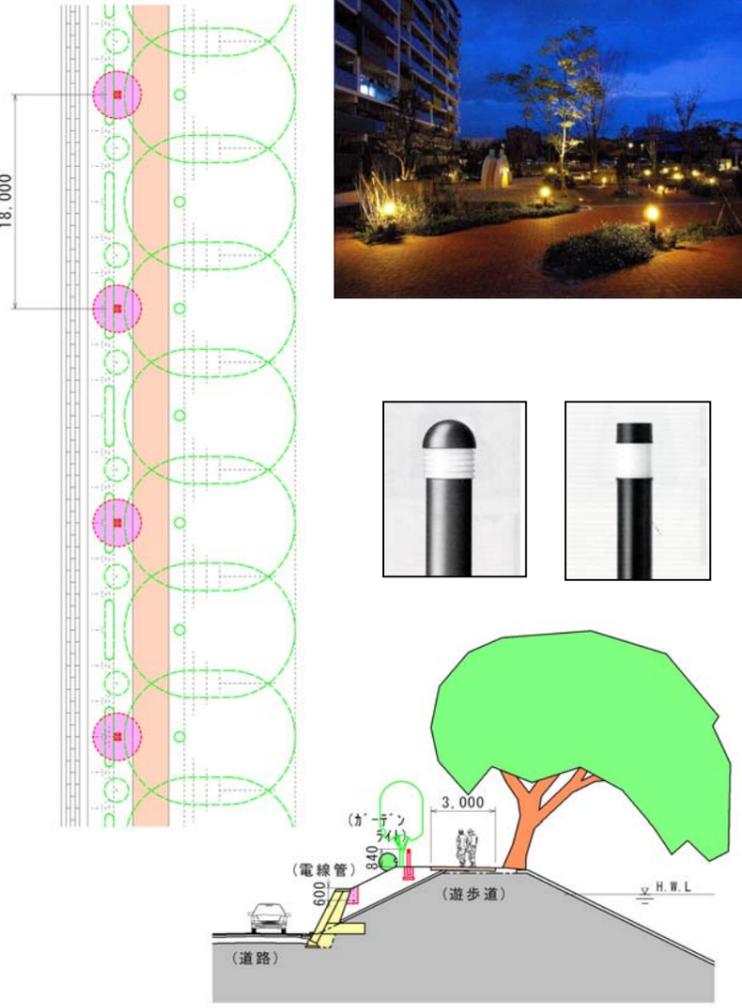
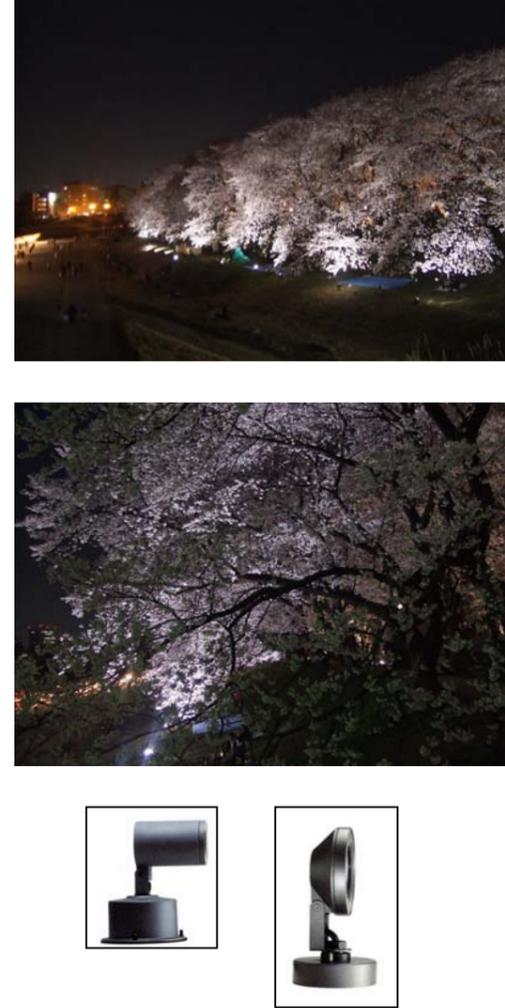
標準断面図



一般的な
スツール

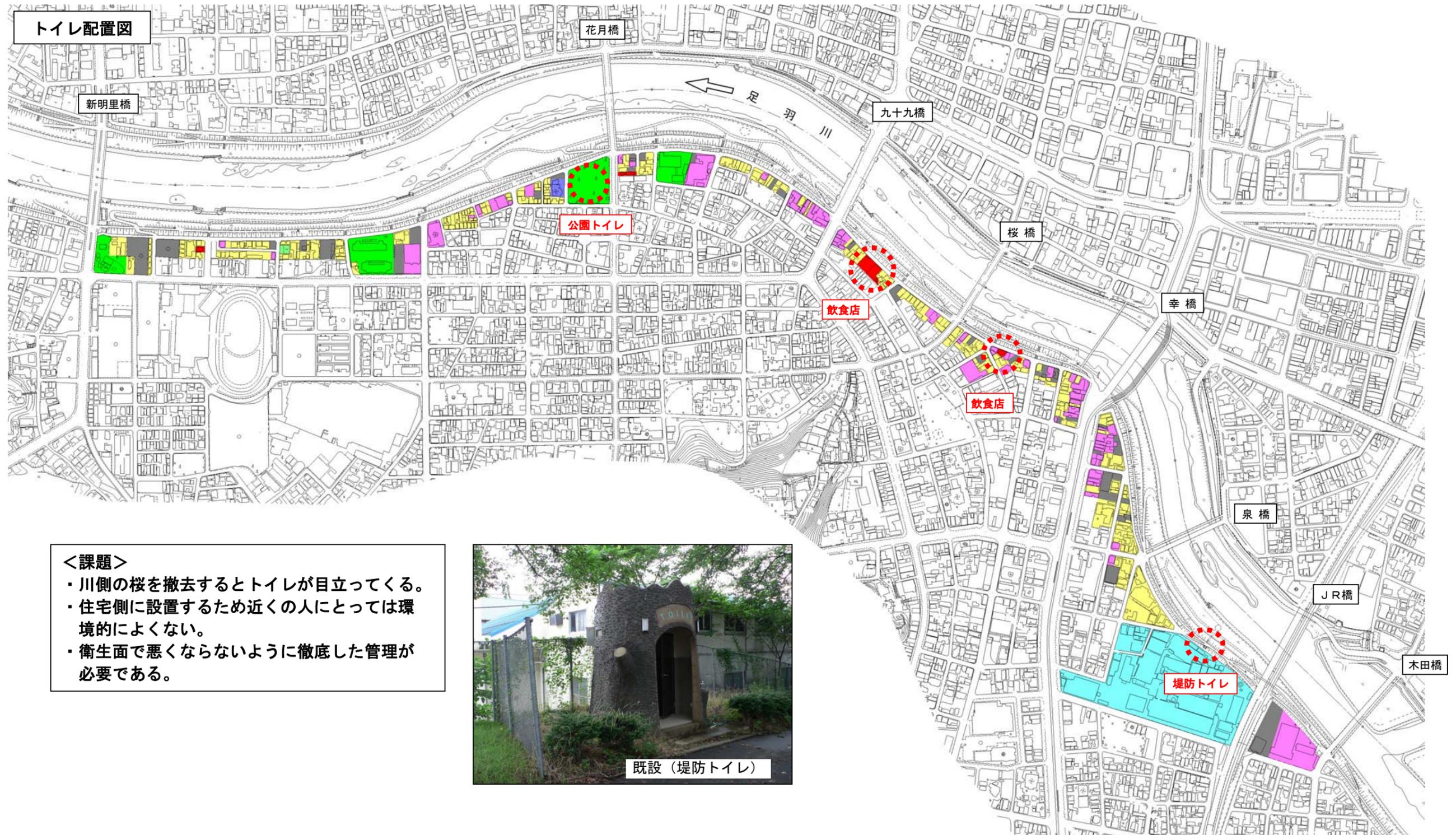


3-6 照明設備

タイプ	ポール灯	ガーデンライト	ライトアップ
概要図	 <p>概要図: ポール灯の概要図。縦方向の長さ27,000mmを示す。横方向の断面図には、電線管(600mm)、照明灯(3,500mm)、遊歩道(3,000mm)、道路、H.W.L. (Horizontal Water Level) が示されている。また、ポール灯の実際の夜景写真と、2種類の照明器具のイラストが添付されている。</p>	 <p>概要図: ガーデンライトの概要図。縦方向の長さ18,000mmを示す。横方向の断面図には、電線管(600mm)、ガーデンライト(840mm)、遊歩道(3,000mm)、道路、H.W.L. が示されている。また、ガーデンライトの実際の夜景写真と、2種類の照明器具のイラストが添付されている。</p>	 <p>概要図: ライトアップの概要図。桜を照らすことにより特徴的な夜景を演出することができる。また、ライトアップによる光や熱は、光合成や生長・花芽形成等植物の生態に影響を及ぼす可能性があるため、光の強度や点灯時間を調整し、イベント時のみ対応できる等の工夫が必要である。</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・照度が大きいので灯具間隔が長くできる。 ・遊歩道以外に道路への照度も比較的好い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道部だけ照らすので桜にやさしい光となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜を照らすことにより特徴的な夜景を演出することができる。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・桜への配慮から下方方向に照度がある灯具を選ぶ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・照度が小さいため灯具間隔が短くなり、経済的に割高となる。 ・灯具の背が低いため耐雪性に乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップによる光や熱は、光合成や生長・花芽形成等植物の生態に影響を及ぼす可能性があるため、光の強度や点灯時間を調整し、イベント時のみ対応できる等の工夫が必要である。

3-7 トイレ

●堤防利用者のサービス性を向上させるためにトイレが考えられるが、
景観面・環境面・維持管理面で課題があるといえる。



<課題>

- ・川側の桜を撤去するとトイレが目立ってくる。
- ・住宅側に設置するため近くの人にとっては環境的によくない。
- ・衛生面で悪くならないように徹底した管理が必要である。

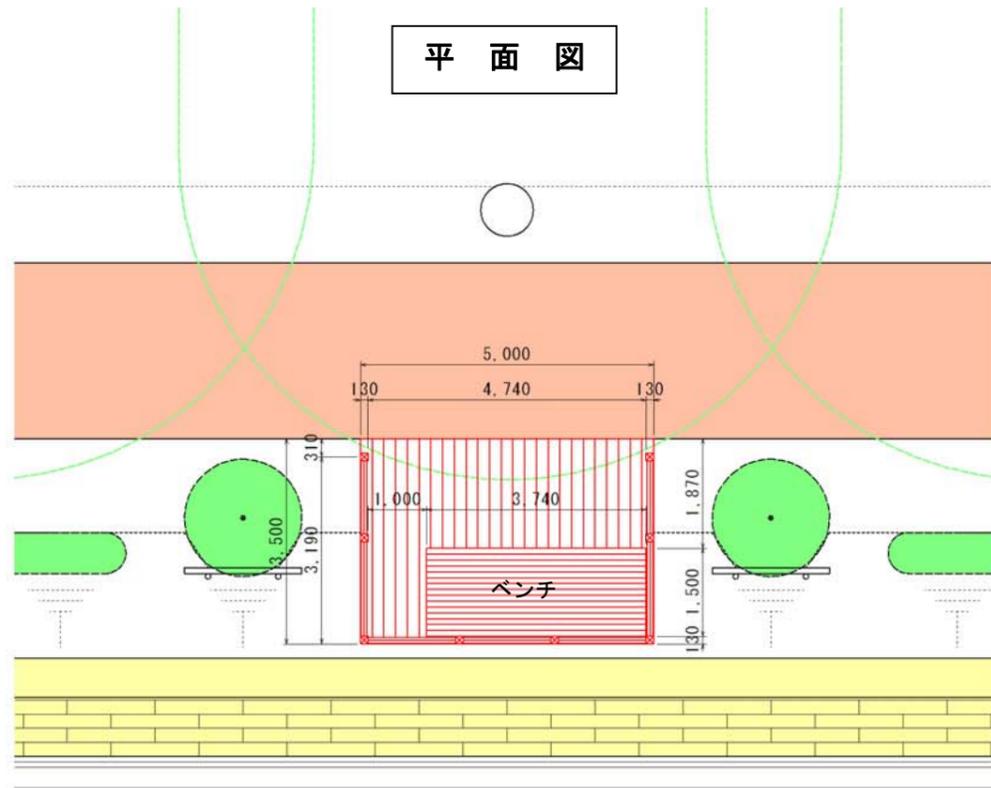


既設（堤防トイレ）

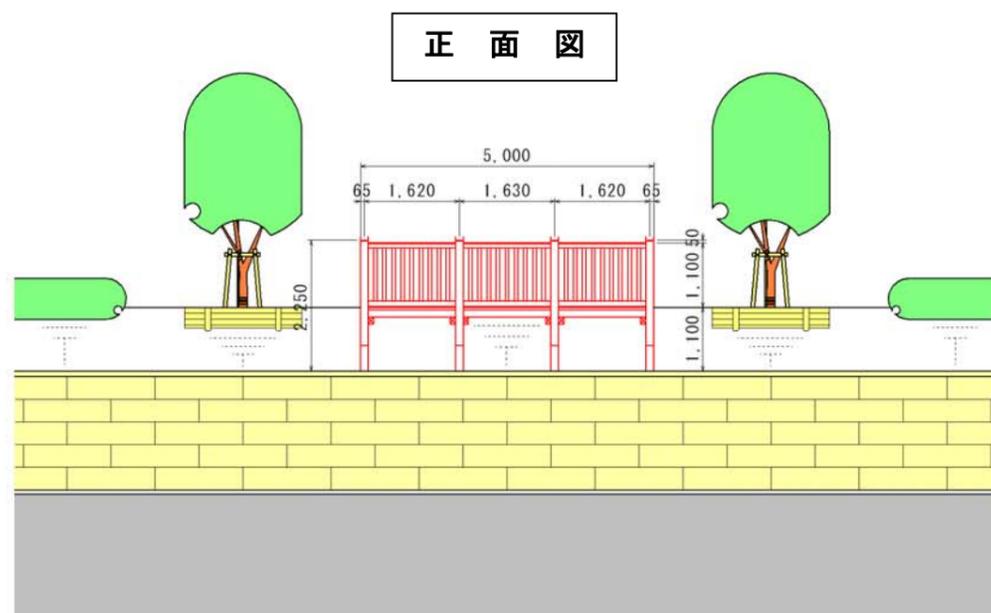
3-8 休憩デッキ

●高い擁壁を設けずに憩いの場として広いスペースを確保するためには、デッキ風に張り出した休憩所が考えられる。

平面図



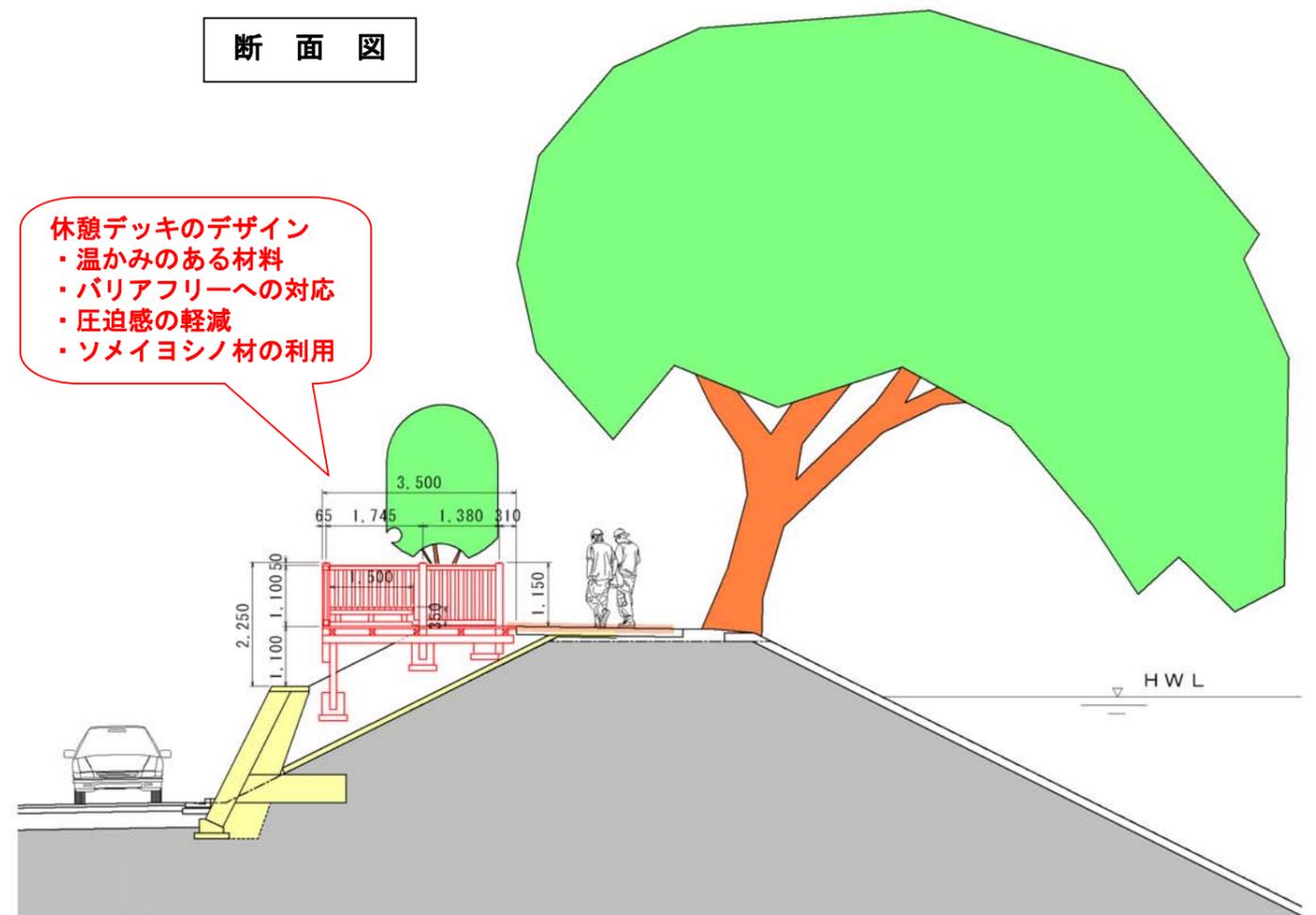
正面図



既設休憩所写真



断面図

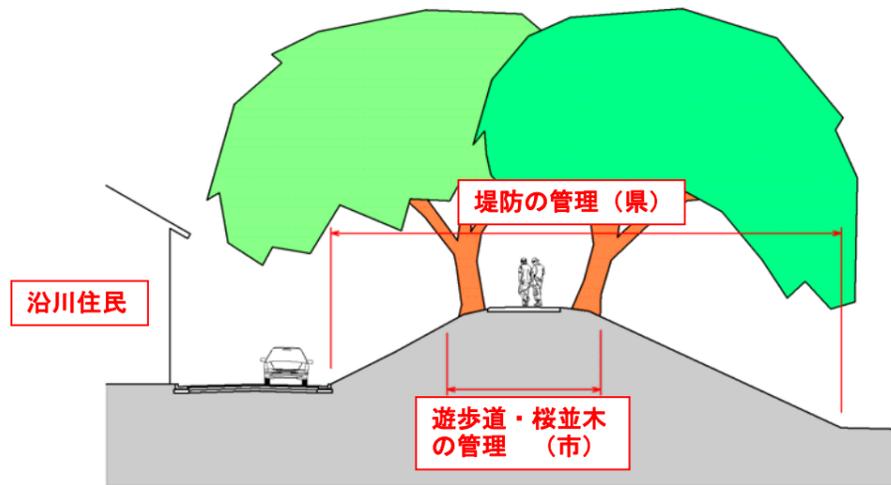


休憩デッキのデザイン
 ・温かみのある材料
 ・バリアフリーへの対応
 ・圧迫感の軽減
 ・ソメイヨシノ材の利用

資料－４ 維持管理計画の検討

維持管理計画

(1) 現状の維持管理状況



<現状の維持管理>

管理担当	維持管理作業	維持管理内容	備考
福井県	除草	堤防全体の草刈り	
福井市	施肥	活力剤投入 (年200本程度)	
	虫害対策	害虫駆除 (薬剤散布)	
	整枝・剪定	影響のある枝の伐採	
	清掃	折れた枝の除去	
沿川住民	清掃	落花の清掃・落葉の清掃	奉仕活動

(2) 桜堤に必要な維持管理

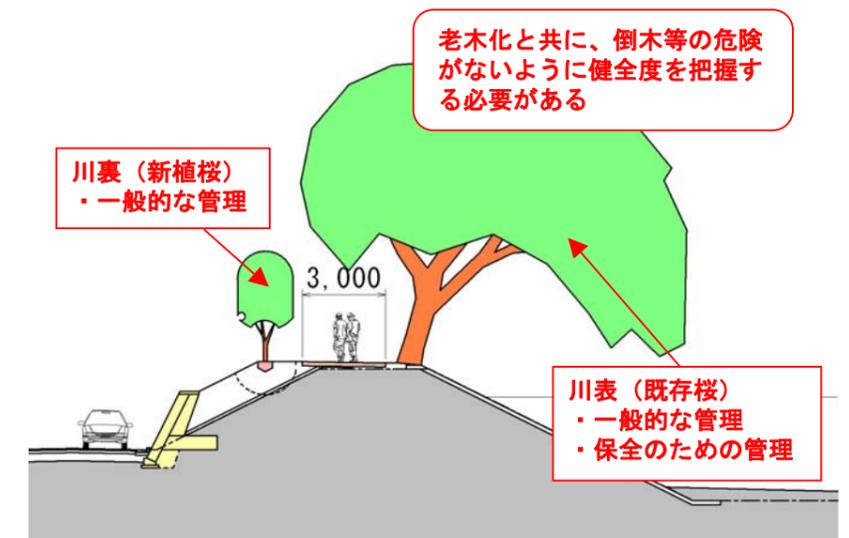
<桜の一般的な維持管理>

維持管理作業	年間スケジュール												一般住民が出来ること
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
施肥	寒肥			礼肥								寒肥	
整枝・剪定													ひこばえ・胴吹き処理
病害対策	てんぐ巣病枝の切除			薬剤散布等									被害状況の連絡
虫害対策	越冬卵・幼虫の捕殺			薬剤散布等									被害状況の連絡
清掃	落葉・落枝の清掃			落花の清掃								落花の清掃 落葉・落枝の清掃	
除草						抜根・草刈		抜根・草刈				草刈 ゴミの処理	
乾燥害対策							灌水						
補植													

参考：桜づみ植栽ガイド (リバーフロント整備センター)

<既存桜の維持管理>

維持管理作業	維持管理内容
健全度の把握	カルテの管理
	腐朽調査の実施
枯損木の処理	樹木医による診断と処置
	伐木・除根処理



(3) 管理体制事例

労力提供

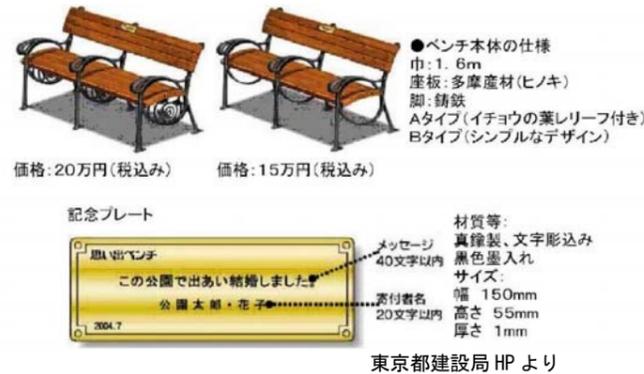
名称	地域名	管理対象	活動頻度	設立年	団体構成	活動内容	行政支援	計画書
九頭竜川桜づつみ	福井市	右岸	—	2007年 2月	・森田地区自治会連合	・樹木・遊歩道の施設管理 ・草刈・清掃等	・害虫駆除	
日野川桜づつみ		右岸	—	2007年 3月	・西藤島自治連合会			
かつやま きれいにする運動	勝山市	駅前、公園、公共施設、 中心部繁華街、河川敷、 国道、県道、市町区道	任意	2006年 4月	・町内会・自治会	・清掃・ゴミ拾い・除草	・ステッカーの配布	
公園の里親制度	鯖江市	公園	年3回	2000年 6月	・環境ボランティア団体 ・サークル・学校・町内会 ・青年会・老人会・個人登録	・清掃・ゴミ拾い・落書き落とし ・除草・花壇の世話 ・情報提供・活動報告	・ゴミの処分 ・ゴミ袋の配布	
道路美化協定	福井市	街路 11箇所	—	2007年	・商店街組合 ・NPO法人・自治会	・花苗植栽 ・除草・施肥	・種、苗、肥料、スコップを県 が提供	
さくら ボランティア	横浜市 南区	大岡川プロムナード 桜並木 505本	講座 年3回 他	2006年	・区役所によるボランティア 募集人員	・講座等を通じた人材育成 ・ほ場を利用した桜の苗木づくり ・桜の日常管理（病害等の発見）・落ち葉清掃 ・桜の剪定・施肥	・「プロジェクト」立ち上げ ・保全活動事務局 ・募金活動支援	南区さくら保全・活 用計画 平成18年3月策定
くにたち桜守	東京都 国立市	大学通り緑地帯の桜 約200本	月1回	2000年	・市民グループ	・施肥・定期調査 ・桜の同定講習会・コスカシバ防除講習会 ・ひこばえとり・桜の根元への花苗植栽	・桜保全事業化 ・ボランティア募集	
大阪アダプト・ リバープログラム	大阪府	河川敷 7.5km	年3回	2002年 4月	・環境ボランティア団体 ・青年会・老人会・学校 ・町内会・自治会・青年会議所 ・地元企業・サークル・その他	・清掃・ゴミ拾い・除草 ・花壇の世話・植栽・植樹・苗の育成 ・違法広告物撤去 ・情報提供・活動報告	・清掃用具の提供・ゴミの回収 ・安全指導（傷害保険への加入） ・清掃者の名前等を明記したサ インボード（看板）の提出	

(社) 食品容器環境美化協会 HP (3・4・8 段目)、福井新聞 (5 段目)、横浜市南区 HP (6 段目)、くにたち桜守 HP (7 段目) より

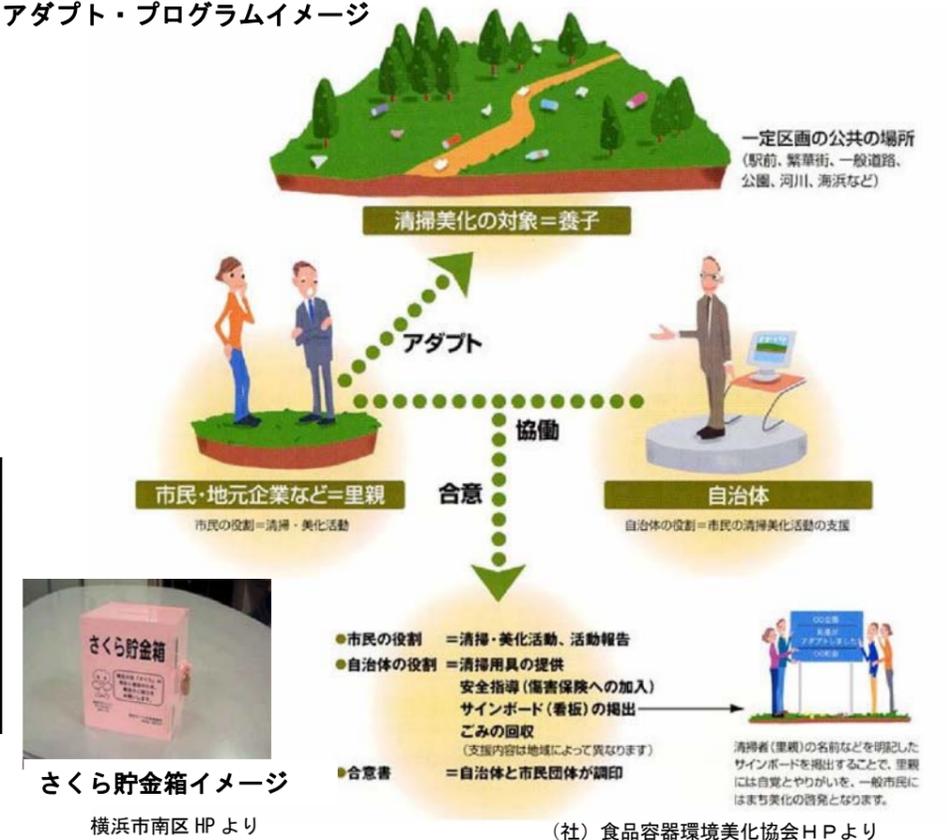
物品提供

名称	地域名	内容
思い出ベンチ	東京都	・メッセージを刻んだプレートをつけた ベンチの寄付による施設リニューアル (利用者との協働) ・寄付されたベンチは都の財産に帰属

思い出ベンチイメージ



アダプト・プログラムイメージ



資金調達

名称	地域名	内容	実施主体	募金方法
さくら貯金	横浜市 南区	・区内の桜の名所を保全し、普及させ るための募金活動 ・集めた募金は桜の植え替え等に利用	[南区桜貯金振興会] ・商店街連合会・婦人部連絡会 ・町内会長連絡協議会・区役所 ・(社) 横浜市造園協会 ・(有) 横浜樹木診断研究所	・「さくら貯金箱」への募金 (設置協力施設の募集) ・金融機関への振り込み ・事務局窓口(南区役所)へ持参

(4) 維持管理の課題と対策

課題

1. 沿川住民の負担

落葉、落枝、落花の処理については、沿川住民の奉仕活動に頼っているのが現状で、沿川住民の負担が大きい。

2. 既存桜(川側)の保全管理

川側の桜については年々老朽化していくため、一般的な管理に併せて、保全のための管理や枯損木の処理等が必要になり、今後管理経費の増大が想定される。

3. 若木(住宅側)の管理

住宅側の若木の桜については、健全な生育と将来の良好な並木景観を作るために、若木の頃から継続的な維持管理が必要である。

取組み方針

① 官民一体の管理体制構築

健全な桜並木育成のため、官民一体となった管理体制を構築する必要がある。

② 維持管理費財源の確保

健全な桜並木育成のため、十分な管理財源を確保するとともに、桜に関する広報を通して関心を高め、市民や企業からの費用面での協力を促す。

桜づつみ維持管理体制

管理費財源確保

整備費コスト縮減

役割分担(案)

住民	県	市
<ul style="list-style-type: none"> 害虫発生状況監視、通報 落葉、落枝、落花清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 法面草刈 落葉、落枝の堆肥への活用策検討 	<ul style="list-style-type: none"> 病虫害防除 剪定 施肥 枯損木伐採撤去 ゴミ袋、清掃用具提供 桜保全人材育成
NPO		
<ul style="list-style-type: none"> 清掃等 樹木健康診断 桜保全人材育成 		

桜基金設立

- 桜サポーター制度
- 足羽川思い出ベンチ事業

資料－５ 撤去する桜の有効利用の検討

撤去する桜の有効利用

用途	内 容		備 考	参 考 写 真
	分 類	具 体 案		
植 栽	移植木として利用	公園（フェニックスパーク・足羽山等） 他の河川（九頭竜川・日野川） 県庁のお堀・県農業試験場 学校・幼稚園 病院・福祉施設（老人ホーム） 個人企業・市民からの公募 ネットオークション	<ul style="list-style-type: none"> ・樹形の悪さや残りの寿命を考慮した場合、多額の費用をかけて行う価値があるか疑問が残る。 ・移植場所の確保に課題がある。 	  
	苗木づくりに利用	挿し木での苗木づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ソメイヨシノの挿し木で成功した例がない。 	
木 材	製材加工して利用	ベンチ・テーブル・遊具 文房具（鉛筆等）・家具・太鼓	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラ材はヤマザクラが一般的で、ソメイヨシノの使用例はない。但し、ベンチの床材やスツールへの利用は可能であると考えられる。 ・屋外の場合、加工品の品質確保のため、防腐処理の試験が必要である。 	  
	クラフト材として利用	箸・割り箸・箸置き 積み木・コマ・木箱・額 アート材 箸・しおり等の記念品販売		  
	染色材として利用	桜染め（特に小枝がうまくいく）		  
	燃料として利用	ストーブの薪・炭等	<ul style="list-style-type: none"> ・愛好家の間で薪の要望がある。 	
チップ材	マルチング材として利用	遊歩道の舗装材 木の根元の乾燥防止材	<ul style="list-style-type: none"> ・チップ加工すれば可能である。 	 
	スモーク材として利用	食品の薫製材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に様々な桜を混ぜて利用している。 	